

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【公開番号】特開2012-22118(P2012-22118A)

【公開日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2010-159511(P2010-159511)

【国際特許分類】

G 03 B 21/16 (2006.01)

G 02 F 1/1333 (2006.01)

G 02 F 1/13 (2006.01)

H 04 N 9/31 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/16

G 02 F 1/1333

G 02 F 1/13 505

H 04 N 9/31 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月8日(2013.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入射する光を変調する光変調装置と、

開口部が形成された基体を有し、前記光変調装置を固定する固定部材と、を備え、

前記光変調装置は、前記開口部に挿入され、前記光変調装置の光入射側及び光出射側が前記基体からそれぞれ前記光入射側及び前記光射出側に突出した状態で前記固定部材に固定される

ことを特徴とするプロジェクター。

【請求項2】

請求項1に記載のプロジェクターにおいて、

前記固定部材は、前記基体における互いに対向する一対の端縁から前記基体に交差する方向にそれぞれ起立する一対の起立部を有し、

前記一対の起立部は、他方の前記起立部に向けて延出する延出部をそれぞれ有し、

前記光変調装置は、前記光入射側または前記光出射側が前記延出部に固定される

ことを特徴とするプロジェクター。

【請求項3】

請求項2に記載のプロジェクターにおいて、

前記固定部材は、前記基体、前記光変調装置、前記起立部、および前記延出部により形成される空気の流路を有することを特徴とするプロジェクター。

【請求項4】

請求項2または請求項3に記載のプロジェクターにおいて、

入射した光のうち所定の直線偏光光を透過させる偏光板を備え、

前記一対の起立部は、前記延出部から前記延出部に交差する方向に延出し、前記偏光板を支持する一対の支持部を有することを特徴とするプロジェクター。

【請求項 5】

請求項 2 から請求項 4 のいずれか一項に記載のプロジェクターにおいて、
前記光変調装置は、前記光変調装置における対角の位置で前記延出部に固定されること
を特徴とするプロジェクター。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載のプロジェクターにおいて、
光入射面に入射する複数の色光を合成する色合成光学装置と、
前記光変調装置および前記固定部材を保持し、前記色合成装置の光入射面に固定される
支持部材と、を備え、
前記支持部材は、前記固定部材を支持する複数の突起部を有し、
前記固定部材は、前記複数の突起部がそれぞれ挿入される複数の挿入孔を有し、
前記複数の挿入孔のうち対角に位置する挿入孔は、互いに交差する方向に延出すること
を特徴とするプロジェクター。